

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2018年
夏号
vol.17

INDEX

- ◆ 経営戦略計画の成果指標と取り組み内容
- ◆ 平成30年度事業団事業計画
- ◆ 居場所・サロン事業(3月)
居場所・サロン事業 平成30年度計画
- ◆ 陽明小学校 見学・体験学習受け入れ
- ◆ 第15回 名古屋市障害者スポーツ大会
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



経営戦略計画の成果指標と取り組み内容

第3次経営戦略計画の経営戦略目標に基づき、成果指標と年度別到達目標を定め、取り組みを実施します。
名古屋市の障害者施策推進の一翼を担う中核施設として、適切に状況を捉え、常に利用者の立場に立った事業を推進していきます。

基軸	経営戦略目標	成果指標	29年度 目標	29年度 実績	(参考)年度別到達目標		取り組み内容
					30年度	31年度	
公共サービスの充実	1 利用者の意向を尊重し、利用者の可能性を最大限に発揮でき、必要なときに必要なサービスを受けられるよう、ライフステージに応じた支援を行います。	附属病院(入院)	90%以上	94.5%	90%以上	90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域への移行、地域生活・社会生活の維持が円滑にできるよう、地域に向けた助言・啓発・研修など地域の関係機関等との連携を強化するとともに、相談支援機能を充実させるため法人内の連携を推進します。 リハセンターの潜在的な対象者がリハセンターを利用できるよう、他の医療機関、施設等からの利用経路を確立します。 職業的自立と社会参加を図るため、ハローワーク等の関係機関と連携し職場開拓を行い、就労後の職場定着の支援を強化します。また、職業的課題を抱える障害者に対し、関係機関と連携し相談支援を一体的に行います。 障害者や高齢者、地域住民の方が気軽に参加できるプログラムを充実し、スポーツ活動の機会の提供を行います。 東京2020パラリンピックに向け、障害者スポーツを身近なものとして捉えてもらえるよう、地域のスポーツ施設と連携しながら、地域における障害者スポーツの普及・啓発を行います。 地域ネットワークづくり、福祉用具の製作・改造、IT(情報技術)支援を担う、テクノエイドセンター機能を充実します。 当法人の提供するサービスの質を数的に評価する重要な指標として満足度調査を実施し、利用者とその家族の意向を尊重するサービスの提供に努めます。 リハセンターの専門性、蓄積されたノウハウを活かし、地域での支援者となるべき専門職の育成のみならず、障害のある方やその家族、一般市民向けの研修会・講習会を開催します。 日頃の業務に関連する研究などを奨励し、研究に取り組みやすい職場風土づくりを推進します。 研究機関、企業など外部機関等との共同での取り組みを推進します。 リハビリテーション研究基金を活用してのリハビリテーション技術の研究開発を推進します。 事業団公式ウェブサイトなどを通じ、法人及び法人が運営する事業の機能・取り組みについて適時情報発信し、市民への広報活動を強化します。
		障害者支援施設	90%以上	92.3%	90%以上	90%以上	
		福祉スポーツセンター	90%以上	97.9%	90%以上	90%以上	
		障害者スポーツセンター	90%以上	92.6%	90%以上	90%以上	
		地域活動支援センター	90%以上	94.7%	90%以上	90%以上	
		なごや福祉用具プラザ	90%以上	99.7%	90%以上	90%以上	
		西部リハビリテーション事業所 <small>※平成29年度末廃止で未実施</small>	90%以上	—	—	—	
	就労支援センター相談支援件数(年間)	3,600件	5,154件	3,600件	3,600件		
	なごや福祉用具プラザ相談件数(年間)	12,000件	13,953件	12,000件	12,000件		
	2 新たなニーズや、ニーズの変化を機敏に把握し、先駆的、先進的な事業に取り組むとともに、関係機関との密接な連携を促進し、相互の機能向上並びに、地域の障害者リハビリテーションや障害者サービスの充実を図り、情報発信、コーディネート等の中核的役割を果たします。	地域貢献活動・啓発事業など講習会等実施件数(年間)	35件	37件	35件	35件	
講師派遣・講演件数		150件	172件	150件	150件		
基幹相談支援センター地域関連機関とのケア会議等の件数(年間)		120件	177件	130件	140件		
事業団公式ウェブサイト等のインターネット広報による情報発信件数(月間)		10件	32.8件	10件	10件		
3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。	学会発表数	40題	54題	40題	40題		
	外部機関と共同で行った取り組み件数(年間)	5件	19件	5件	5件		
財務内容の改善・向上	4 経費対効果を常に念頭に置き、制度改正等に即応した収入の確保や、経費の節減に努めます。	入院病床	90%	91.7%	90%	90%	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護・福祉の各制度の内容を把握し、的確な運用に努めます。 入院時のリハビリテーションにおける提供単位数の拡充に努めます。 利用者のニーズに即した効率的な施設の管理運営に努めます。 業務統計システムの運用により、常に運営・稼働状況を把握し、法人経営の効率化、合理化に努めます。 利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、施設・設備の効果的な改善に努めます。 利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、名古屋市と連携しながら、施設・設備の効果的な改善に努めます。
		通所リハビリテーション	83%	82.7%	83%	83%	
		自立支援入所	85%	82.3%	85%	85%	
		自立支援日中活動	90%以上	98.9%	90%以上	90%以上	
	入院患者1人あたりの疾患別リハビリテーション単位数(1日あたり)	4.5	4.57	4.5	4.5		
	福祉スポーツセンター利用者数(1日あたり)	150人	161.3人	150人	150人		
	障害者スポーツセンター利用者数(1日あたり) <small>※修繕工事による休館考慮</small>	450人	492.7人	480人	480人		
5 利用者にとって安心・安全で、快適な環境を提供するため、リスクマネジメント等の確立に取り組み、適正な法人運営、施設運営を行います。	設備面に関する利用者満足度	90%以上	91.4%	90%以上	90%以上		
現場力の強化	3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。(再掲)	学会発表数(再掲)	40題	54題	40題	40題	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の業務に関連する研究などを奨励し、研究に取り組みやすい職場風土づくりを推進します。(再掲) 研究機関、企業など外部機関等との共同での取り組みを推進します。(再掲) リハビリテーション研究基金を活用してのリハビリテーション技術の研究開発を推進します。(再掲) 高い力量・資質をもつ職員の主体的な自己能力開発・向上を支援します。 職員自ら新たな発想を持ち実行していくため、企画立案能力を育成します。
		外部機関と共同で行った取り組み件数(年間)(再掲)	5件	19件	5件	5件	
	6 総合的な人材育成計画に基づいて、高い専門性とモチベーションを有する人間力豊かな人材を育成します。	自己啓発支援制度を利用した研修参加数(年間)	80件	95件	80件	80件	
	職員が企画運営する内部研修数(年間)	70件	69件	70件	70件		

平成30年度 事業団事業計画

平成30年度の事業計画および予算が、3月26日開催の理事会で決定されました。

今年度の事業計画は、以下のような重点取り組み事項が挙げられています。

1 診療報酬および介護報酬ならびに障害福祉サービス等報酬の同時改定への適切な対応

ア 診療報酬および介護報酬の同時改定

現在、団塊の世代が75歳以上の高齢者となる2025年に向けて、医療機能の分化・強化、連携や医療・介護の一体的な基盤整備が進められています。平成30年度の報酬改定は、この道筋を示す重要な改定となっています。

当事業団においては、診療報酬と介護報酬の同時改定に適切に対応し、質の高い医療・介護サービスを提供するとともに、地域での療養や生活を継続できるよう、関係機関等と連携し、入院患者に対する退院支援への取り組みや介護サービスおよび障害福祉サービスとの連携を強化します。

イ 障害福祉サービス等報酬改定

障害者の重度化や高齢化、「親亡き後」を見据え、障害者やその家族が安心して地域で生活できるようにするため、地域生活支援拠点等の整備・地域移行の促進等の方向性が示されています。障害者支援施設、障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センターの事業運営を行っている当事業団としては、必要な対応を行い、障害福祉サービスの充実に努めてまいります。

2 適切な施設の維持管理

利用者が安心・安全・快適に利用できるよう、施設の設置者である市と協議を進めながら計画的な施設の維持管理に努めます。

3 人材確保と人材育成

少子高齢化による労働力の減少など雇用環境の変化に対応し、継続的に質の高いサービスを提供できるよう、引き続

き高い専門性・人間性を有する職員の確保、育成に取り組めます。

4 広報および研究活動の推進

リニューアルした事業団ウェブサイトやTwitter、広報誌等を活用し、情報発信力を強化するとともに、広報を支えるマネジメント機能の整備を図り、より効率的かつ効果的、戦略的な広報を推進します。

研究活動においては、既存の研究奨励のための制度(リハビリテーション研究基金による研究・業務関連研究)を活用し、さらなる調査・研究の推進に取り組めます。

5 その他の取り組み

ア 障害者就労支援センターめいりはの運営

平成30年4月に第2期の事業受託期間が始まる障害者就労支援センターについて、引き続き関係部署・関係機関と連携しながら、利用者の就労およびそれに伴う生活上の相談・支援に努めます。

イ 障害者基幹相談支援センター事業・地域活動支援センター事業受託の準備

平成31年4月に更新が予定されている、障害者基幹相談支援センターおよび地域活動支援センターの事業受託に向けた準備を行います。

ウ 事業団設立30周年に関するイベント等の開催

平成30年度は事業団設立30周年の節目であり、記念誌の発行、地域住民に向けたイベント等を開催し、当事業団の役割を再確認するとともに、障害者福祉の普及・啓発に努めます。

居場所・サロン事業報告

3月

リハビリセンター見学会

平成30年3月27日(火)に「リハビリセンター見学会」を開催しました。見学会は昨年度11月にも実施しており、今回で2回目となります。見学会の内容は前回同様「リハビリテーション事業団の全体概要説明」「施設見学」「製作体験および福祉用具展示」の3部構成で実施しました。

施設見学では、参加者の皆さんがとても興味深そうに聞き入っている姿が見受けられました。製作体験では、福祉用具の「ペットボトルオープナー」と「ストローホルダー」を製作していただきました。



今後も地域にお住まいの皆さまのお役に立てるよう、いろいろな相談をお受けできるよう取り組んでまいります。

居場所・サロン事業

● 平成30年度 年間計画 ●

平成28年度より始まった「なごや・よりどころサポート事業」居場所・サロン事業について、平成30年度の開催予定をお知らせいたします。

開催予定日	月別企画予定	開催場所
6月18日(月)	保健師講座(健康講座)、茶話会・相談会	福祉スポーツセンター第4会議室
7月31日(火)	事業団設立30周年記念事業 天平ジャグリングショー	福祉スポーツセンター 体育館等
8月28日(火)	健康講座(医師講座)、茶話会・相談会	リハビリテーションセンター4階 大研修室
9月26日(水)	地域活動支援センター メニュー体験、茶話会・相談会	地域活動支援センター つきみがおか
10月17日(水)	看護部主催市民公開講座、茶話会・相談会	リハビリテーションセンター4階 大研修室
11月20日(火)	地域介護者教室、茶話会・相談会	リハビリテーションセンター4階 大研修室
12月	保健師講座(健康講座)、茶話会・相談会	福祉スポーツセンター第4会議室
平成31年 1月25日(金)	障害者スポーツ体験、茶話会・相談会	リハビリテーションセンター4階 大研修室
2月27日(水)	健康講座(介護予防講座)、茶話会・相談会	福祉スポーツセンター第4会議室
3月12日(火)	リハビリセンター見学会、茶話会・相談会	福祉スポーツセンター第4会議室



概要説明の様子



視覚障害体験の様子

平成30年3月13・14・16日の3日間にわたり名古屋市立陽明小学校6年生の皆さんをお迎えし、リハビリテーションセンターの見学体験学習を行いました。

陽明小学校6年生の 見学・体験学習の 受け入れを行いました

今回はリハビリテーションセンターの概要説明、センター内の見学、視覚障害体験を行いました。視覚障害体験では二人組でアイマスクを付けた状態で歩く体験、アイマスクを付けた友達の歩行を誘導するといった体験をしていただきました。視覚障害体験で初めて「見えない」状態を体験したという児童さんも多く、印象に残ったようです。平成30年度からは年間を通して体験学習を複数回実施する予定です。

第15回

名古屋市障害者スポーツ大会



平成30年5月6日(日) @パロマ瑞穂スタジアム

陸上競技

フライング
ディスク
の部

平成30年5月6日(日)、パロマ瑞穂スタジアムで第15回名古屋市障害者スポーツ大会を開催しました。

競技では、陸上競技に388名、フライングディスクの部に279名の参加があり、選手全員がスピード、力、技を競い合いました。

今年10月に福井県で開催予定の第18回全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねており、福井大会のマスコット「はぴりゅう」と来年度の開催地である茨城大会マスコット「いばラッキー」が応援に来てくれました。さらに、名古屋市マスコットの「はち丸」が駆け付けてくれ、大会を大いに盛り上げてくれました。

競技以外では、障害者スポーツの普及・発展を目的として、障害者スポーツ体験コーナー「はち丸パーク」を開設しました。

今年度の「はち丸パーク」は、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の協力もあり、昨年度より規模・内容共にパワーアップした内容となりました。ポッチャや車いすバスケットボール、ブラインドサッカー体験などの障害者スポーツ体験に加え、体力測定やお楽しみくじ引きなどを行いました。

障害者スポーツ大会は選手のみならず、介助者や保護者、地域の方々にも楽しんでいただけるものとなり、笑顔があふれる大会となりました。



陸上競技の様子



フライングディスクの様子



はち丸 いばラッキー はぴりゅう



はち丸パークの様子

イベント情報

サウンドテーブルテニス (STT) 審判講習会

日時：平成30年8月19日(日)

第15回名古屋市障害者スポーツ大会 (水泳の部)

日時：平成30年8月26日(日)

場所、対象者、申込方法詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370



上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。

●前期家族介護者教室「楽しく介護のすすめ～心と体の健康講座～」

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。

◆南部介護者教室「介護の準備学」 場所：名古屋市総合リハビリテーションセンター 定員：40名

- ① 6/19 (火) 介護の準備学 ～マネー編～
- ② 6/26 (火) 訪問介護 ～介護保険でできること・できないこと～
- ③ 7/ 3 (火) 介護予防 ～地域でつながるメリット～
- ④ 7/10 (火) 高齢者施設の選び方 ～入居探しの不安を解決しよう～



◆北部介護者教室「排泄よろず相談」 場所：名古屋市総合社会福祉会館 定員：40名

- ① 7/11 (水) 排泄道具とトイレの環境
- ② 7/18 (水) オムツとスキンケア
- ③ 7/25 (水) 排泄をスムーズに ～健康体操～
- ④ 8/ 1 (水) 排泄動作と介助方法



日時、場所、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員 募集要項公開中 ▶ 詳細は事業団ウェブサイトへ



嘱託職員

嘱託調理員、嘱託看護師、嘱託ソーシャルワーカー、嘱託ケースワーカー、
嘱託精神保健福祉士、プール監視員、調理補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370